



鼓膜穿孔に対する新しい治療法

耳鼻いんこう科・頭頸部外科

辻 亮



2019年にリテインパという鼓膜再生治療薬が日本で承認されました。

鼓膜穿孔の原因には慢性中耳炎や外傷性の穿孔、鼓膜チューブを抜去後に穿孔が残ってしまった例など様々あります。穿孔は自然に閉鎖することもあります。再生能力が低下して穿孔が閉鎖せず、難聴や耳漏を伴う場合もあります。

これまではこういった鼓膜穿孔に対して、「鼓膜形成術」や「鼓室形成術」で穿孔を閉鎖してきました。これらの手術は、主に耳の後ろを切開して皮下組織や側頭筋膜を採取し、それを土台にして鼓膜を閉じるという手法を用います。しかしこの方法だと、鼓膜が厚くなったり鼓膜の高さが変化し

たりすることで、期待していたほど聴力が改善しないことがあります。

一方、鼓膜再生治療は、創傷治癒促進作用を有しているトラフェルミンという薬剤を使用することで、鼓膜を再生し穿孔を閉鎖します。組織の採取は不要です。できあがる鼓膜は再生されたものなのできれいで理想的な鼓膜となります。

当科では2021年から15例の手術を経験し、鼓膜閉鎖率は86.7%、聴力改善率は93%と良好な成績となっています。今後も症例を重ね、よりよい治療を目指していきたいと思えます。



鼓膜の中央に穴があいています

鼓膜がきれいに再生されています
聴力も改善しました



マンモグラフィ装置を 更新しました

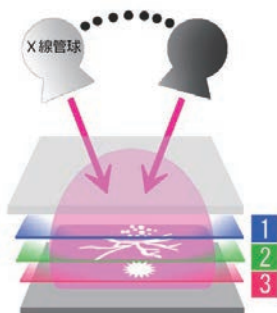
富山市民病院では 2023 年 3 月に乳房 X 線撮影装置を更新しました。

新しい装置はトモシンセシス撮影が可能な装置となっており、より精密な検査が可能となりました。

【トモシンセシス撮影について】

一般的に日本人は欧米人に比べて、年齢にかかわらず高濃度乳腺の方が多いと言われています。

従来のマンモグラフィでは乳腺と腫瘍が重なり判断が難しかったものも、トモシンセシス画像の 1 mm ごとの断面像を確認することで、乳腺に埋もれた病変の発見に役立つと言われています。



2D画像



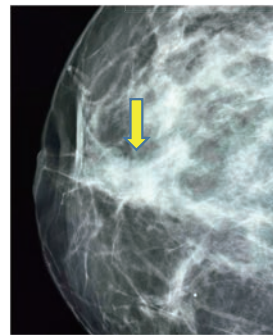
トモシンセシス



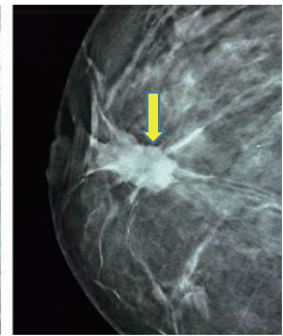
断層画像



腫瘍 (↓) の見え方



従来のマンモグラフィ
(2D画像)



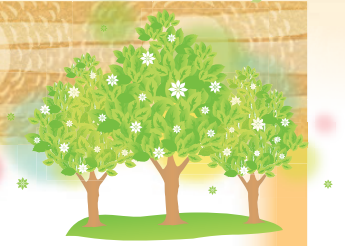
トモシンセシス画像
(断層画像)

当院の装置では、1度の乳房圧迫で従来のマンモグラフィとトモシンセシス画像の両方を撮影することが出来ます。撮影時間は従来の撮影より 10 秒程度長くなりますが、放射線被ばくは少なく抑えられています。また、乳房圧迫時の痛みを軽減する機能が搭載されており、以前よりも患者さんに優しい装置となっています。

(お問い合わせ、予約受付) ふれあい地域医療センター

受付時間 平日 8:30~18:00、土曜日 8:30~12:30

予約専用電話 (076) 422-1114 直通 FAX (076) 422-1154



1. 地域連携症例検討会（ハイブリッド開催）

日時：7月11日（火） 19：00～20：00

場所：当院3階 講堂

- 1) 症例検討 『難治性静脈うっ滞性潰瘍に対し、下肢血管内レーザー焼灼術、
経皮的穿通枝焼灼術が有効であった1例』
血管外科 酒井 麻里
- 2) ミニレクチャー 『整形外科以外の医師のための骨盤骨折の話』
整形外科 堀井 健志

骨盤は「強靱な輪」の構造をしています。「輪」の1ヶ所で骨折した場合、「輪」構造はまだ比較的安定しています。しかし「強靱な輪」の構造を破壊させるような大きな力が加わると、通常は「輪」の2ヶ所に骨折が生じてかなり不安定となります。外力が「前から（正面から車がぶつかるような）」加わったのか、「横から（横向けで転落するような）」加わったのか、「垂直方向に（高所転落のような）」加わったのか、そして骨盤のどの部分が骨折して、どの程度の転位が生じているのか、などを考慮して分類が行われ、治療方針決定に繋がることとなります。

骨盤骨折というと、交通事故や高所転落などの大事故が原因と考えることが多いかもしれませ

ん。実際そういう症例も多いのですが、最近では「転んだだけ」などの低エネルギー外傷による高齢者骨盤骨折が著しく増加しています。これは骨粗鬆症をベースとした脆弱性骨盤骨折と呼ばれ、整形外科のトピックのひとつとなっています。高エネルギー外傷で骨盤が不安定になっている場合は手術固定が多く行われます。一方、低エネルギー外傷による脆弱性骨盤骨折は保存的に加療されることが多いですが、長期臥床を避けるために手術が行われる場合も徐々に増えています。

整形外科以外の先生方に、骨盤骨折のアウトラインについてなるべくわかりやすくお話をさせていただきます。

予告

※8月の地域連携症例検討会の開催はありません。

9月の予定は下記のとおりです。ご参加をお待ちしております。

日時：9月12日（火） 19：00～20：00（ハイブリッド開催）

場所：当院3階 講堂

- 内容：①症例検討 1例（担当）腎臓内科
②ミニレクチャー 1題（担当）循環器内科

2. 腎臓病教室

日時：10月3日（火） 13：30～15：45

場所：当院3階 301会議室

今回は、令和6年2月22日の開催を予定しております。

腎臓病教室に関するお問い合わせは、内科外来までご連絡ください。



作：病院ボランティア 篠崎 佳子

栄養サポート看護 エキスパートナースの活動

栄養サポート看護エキスパート 草野玲奈、浮田里美

超高齢社会に進んでいる現代では、活動量の低下から筋肉量の減少が進んだフレイルといわれる状態が増えてきています。私たちは、そのような状態に陥らないように日々話し合い、看護の視点から栄養状態の維持・改善に努めています。

私たちは医師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士などと協力し専門的な視点から知識を取り入れ、日々意識を高め合い活動しています。また、学習会を開催しスタッフの知識向上や、教育にも力を注いでいます。

質の高い医療、看護を提供するために栄養サポートはなくてはならないものです。地域の皆様に安心して治療を受けていただけるよう力を発揮していきたいと考えています。

医師不在のお知らせ

※外来担当日の休診のみ掲載

7月

科名	医師名	不在日	科名	医師名	不在日
内科	寺崎敏	6日、11日~28日(代診あり)	精神科	結城	14日
	水野	31日	形成外科	島	18日、19日、20日、21日
	森田	13日	皮膚科	野村佳	10日
	山本信	28日	呼吸器・血管外科	湖東	11日
	田中智	3日、31日	小児科	和田拓	26日、27日、28日
外科	竹下	13日、14日	眼科	山田芳	31日
	名倉	12日、13日、31日		村上	28日
整形外科・ 関節再建外科	岡本	28日	耳鼻いんこう科・ 頭頸部外科	辻	27日、28日
	羽土	19日、20日		近藤	7日
産婦人科	田中智子	31日	歯科口腔外科	寺島	24日、25日、26日
麻酔科	津田	24日		朽名	21日、28日

※その他、急に不在となることがありますので、ふれあい地域医療センターまでお問い合わせください。TEL 076-422-1112 (代) 内線2168

編集後記

6月に入り、富山県内も梅雨入りとなりました。梅雨の時期になると毎年新しいレインシューズが欲しいなあと思いながら靴屋を眺めていたのですが、今年はずいぶん購入に踏み切りました。例年は雨が続くとなんとかじめじめとして憂鬱な気分になっていましたが、今年は新しいレインシューズを活躍させたいので、雨が降る日があってもいいなと思っています。

とは言え晴れの日にはさわやかな気持ちの良さを感じ、どこかに出かけようかと楽しい計画をしたくなります。まだまだ不安定な気候が続きそうですが、季節の魅力・楽しみを感じながら日々を乗り切りたいと思います。

ふれあい地域医療センター 島田 佳奈



「れんけいと支援」に関するお問い合わせは、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。送付を希望されない方はお申し出ください。

TEL 076 (422) 1112 (代) / FAX 076 (422) 1154
メールアドレス fureairenkei@tch.toyama.toyama.jp



ホームページ <http://www.tch.toyama.toyama.jp/> がん何でも相談室：メールアドレス shien@tch.toyama.toyama.jp